

小倉昭和館

作品 上映



『北九州市ゆかりの作家

松本清張・火野葦平』



●上映期間：令和2年11月28日(土)～12月11日(金)

●上映作品：松本清張原作 火野葦平原作

「点と線」 「女侠一代」

●劇 場：小倉昭和館 2号館

北九州市小倉北区魚町4-2-9 TEL 093-551-4938

●鑑賞料金：1,200円(2本立て)、サービスデイ1,000円

※2作品共に35mmフィルムでの上映

※詳細は小倉昭和館 HP 等でご確認ください。

<http://kokura-showakan.com>



©1958「女侠一代」松竹株式会社

【点と線】

1958年東映作品。社会派推理小説ブームの原動力となった松本清張の「点と線」を映画化。警視庁の三原警部補(南廣)と福岡署の鳥飼刑事(加藤嘉)が犯人の鉄壁のアリバイに挑む。高峰三枝子、山形勲など出演。

【女侠一代】

1958年松竹作品。火野葦平の原作を「夜の波紋」コンビの菊島隆三脚本、内川清一郎監督で映画化。筑豊炭田が舞台の女性アクション編。清川虹子が主役を演じ、森繁久彌、山田五十鈴、三國連太郎、淡路恵子らがスクリーンを彩り、火野葦平も知事役で出演。



北九州市立 松本清張記念館

直筆原稿で見る――

「点と線」 のダイナミズム

令和2年9月11日(金)

～令和3年1月11日(月・祝)

会 場：北九州市立松本清張記念館
地階 企画展示室



「点と線」は、推理小説作家・松本清張の地位を確立した代表作です。本展では記念館所蔵の直筆原稿を一枚ずつ展示し、新境地に挑んだ作家によるペンに込められた情熱と迫力を紹介します。

観覧料：大人 600円 / 中高生 360円 / 小学生 240円 (常設展示観覧料含む)
休館日：9月28日、10月26日、11月24日、年末(12月28日～12月31日)
開館時間：9:30～18:00 (入館は 17:30まで)
北九州市小倉北区城内 2-3 TEL 093-582-2761 / FAX 093-562-2303

北九州市立文学館 KITAKYUSHU LITERATURE MUSEUM

没後60年

火野葦平展 ―レットルはかなしからずや―

令和2年11月21日(土)～令和3年2月14日(日)

会 場：北九州市立文学館 1階 企画展示室



北九州若松出身の芥川賞作家、火野葦平は今年、没後60年です。

1938年、出征中に「糞尿譚」で芥川賞を受賞した葦平は陸軍報道部に転属となり、従軍記「麦と兵隊」に始まる<兵隊三部作>で、一躍国民的作家となりました。戦後は公職追放となりましたが、解除後は若松と東京を往復しながら多くの作品を残し、また地域文化の発展に尽力しました。本展は約200点の資料とともに火野葦平の生涯と文業を紹介します。



観覧料：一般 500円 / 中高生 120円 / 小学生 60円 (常設展示観覧料含む)
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月3日)
開館時間：9:30～18:00 (入館は 17:30まで)
北九州市小倉北区城内 4-1 TEL 093-571-1505 / FAX 093-571-1525